

オリバイン BPS 5213K-2 OP

1. 特徴

2液硬化型アクリル系粘着剤です。

2. 性状

	主剤 < BPS 5213K-2 OP >	硬化剤 < BHS 8515 >
外観	淡黄色透明	微黄色透明
不揮発分	40.0 ± 1.0 %	37.5 ± 1.0 %
粘度	5000 ± 1000 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、トルエン	酢酸エチル

(粘度: B型 #3/12min⁻¹ at 25°C)

3. 使用方法(例)

- 配合 : 主剤 1kg / 硬化剤 23g
- 塗布量 : 約 25g/m² (dry)
- 乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン
- 熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

4. 性能

試験項目				測定値
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH	SUS	initial	10.4
			24hrs	19.8
		PP	initial	1.0 Z
			24hrs	1.1 Z
		PE	initial	1.1
			24hrs	2.1 Z
	5°C	SUS	24hrs	16.7
	60°C		24hrs	16.0
保持力 [mm/70,000sec]	40°C-1Kg	SUS		0.3
	70°C-1Kg			0.
ボールタック [#]				4

* Z:ジッピング

<試料作成条件>

配合	: BPS 5213K-2 OP / BHS 8515 = 100 / 2.3
剥離紙	: ポリラミグラシン紙セパレーター
基材	: 市販ポリエステルフィルム 50μm
塗工	: 弊社テストコーターにて転写塗工
塗布量	: 約 25g/m ² (dry)
乾燥	: 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
熟成	: 塗工後 23°C-50%RH、7days

5. 使用上の注意事項

保存方法	: 屋内にて直射日光を注意して保存
取り扱い	: 危険物につき火気厳禁
配合	: 水分混入注意

*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

6. 一般試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。
測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、PP 板、PE 板
initial	:	圧着後、測定雰囲気内に 20 分間放置してから測定する。
24hrs	:	圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、5°C、60°C

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C、70°C
荷重	:	1Kg

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。